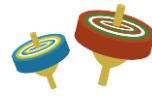


LIBRARY NEWS 北陵

2022年度1月 図書館だより 第4号



◆2022年度第4号発行について

「冬来たりなば春遠からじ。」暖かい春（新学年）（3年生は新生活）が待ち遠しいですね。今は、しっかり準備しましょう。さて今回は、先生方の読書案内から掲載しています。また図書室の丸テーブルの一面に人権関係の新作本を4冊展示していますので、奮って活用してください。（総務部・図書：藤原茂洋）

◆図書徒然草3(1年2組担任 佐々木 理先生からの読書案内)

『金持ち父さん 貧乏父さん』(著:ロバート キヨサキ 出典:筑摩書房)

お金持ちになりたい人は、必ず知っておくべき知識があります。それを知るための最初の1冊としておススメの1冊です。さっそく問題です。「お金持ちとは何ですか？」年収が1000万円以上の人？それとも、貯金が1億円以上ある人？タワーマンションや豪邸に住んでいる人？すべて違います。正解は「1年間働かなくても、何も問題なく生活できる人」です。もちろん1年間に限らず、一生働かなくても問題がない人のことです。そのためには資産を持つ必要があります。そうすれば、自分が働かなくても、資産が勝手に働いてお金をもたらしてくれるのです。

お金の知識を持つことで、人生が豊かになると確信しています。興味がある人は読んでみてください。



◆図書徒然草4(1年5組担任 中村 健斗先生からの読書案内)

『スラムダンク勝利学』辻 秀一著

今年映画が上映され、何かと話題のスラムダンクを心理学の視点で読み解いた本です。「スポーツも社会生活もただ頑張るだけでは意味がない」。気鋭のスポーツ心理ドクターが超人気漫画『スラムダンク』をテキストに講義する“勝つための心理学”です。生きているうえで、何かしらの勝負になり、そこで勝利することが必要になってくる場面があります。そんな時にもっと勝てるようになりたいと考えたことはありませんか？スラムダンクの名言がそのヒントをくれます。部活動に勉強に頑張る高校生の君たちにぜひ読んでほしい一冊です。

本の紹介 本年度後期購入図書から3冊を紹介します。

♠『おいしいごはんが食べられますように』高瀬隼子著(講談社)

第167回芥川賞受賞！



「二谷さん、わたしと一緒に、芦川さんにいじわるしませんか」心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。

職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができがんばり屋の押尾。ままならない微妙な人間関係を「食べること」を通して描く傑作。

♠『七帝柔道記』増田俊也著(角川文庫)

青春小説の金字塔！北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大の七校で年に一度戦われる七帝戦。北海道大学に二浪の末に入った増田俊也は、柔道部に入部して七帝戦での優勝を目指す。一般学生が大学生活を満喫するなか、『練習量がすべてを決定する』と信じ、仲間と地獄のような極限の練習に耐える日々。本当の「強さ」とは何か。若者たちは北の大地に汗と血を沁みこませ、悩み、苦しみ、泣きながら成長していく。圧巻の自伝的青春小説！



♠『勉強が面白くなる瞬間』

一読んだらすぐ勉強したくなる究極の勉強法』ソンヒョク・パク(ダイヤモンド社)

あらゆる「無駄なこと」を日常的にしてきた過去を後悔し、涙ながらに勉強に励んだエピソード、田舎の学校で虫と死闘しながら勉強していた話は10代たちの深い共感を呼んでいます。また、「勉強にいい7つの習慣」「今日一日を最も勉強しやすい日にする秘法」「不満をなくす考え方」など、心の引き締めを助ける有益なコンテンツがあります。ところどころ、いいメッセージがもり込まれており、本書を通して自ら勉強をする理由が見つかるはずです。



《編集後記》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

今回の本の紹介は、恋愛小説、スポーツ自伝的小説、勉強ノウハウ本と異なった内容のものを紹介してみました。

好きな部活をやりたいし、恋愛にも興味がある、受験勉強もしないとだめだと悩んでいる高校生のあなた、先人たちも悩み、そして成長しています。その足跡を上記の3冊で辿って見たらどうでしょうか。（藤原茂洋）